

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療法学科】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		70	30	0	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	50	10	0	0	0	60	
	思考・推論・創造する力	20	10	0	0	0	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する。試験は、講義で学んだ教科書・配布プリント・板書ノートの内容に基づく問題、および応用問題を出題し、理解度を問う。				研究室 (C313) 又は Teams を使用し試験結果を個別に開示し、解説を行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	【4～6 回目の講義】 地域在住高齢者の事例を使用する。自宅でいきいきと過ごすことが継続できるようにケアマネジメントの考え方を検討し発表する。専門職の連携方法やケアの方針を適切に検討できたかを評価する。 【9、10 回目の講義】 10 回目までの講義で学んだ知識を活かし地域作業療法で関わる事例を検討する。生活行為向上マネジメント (MTDLP) を使用し適切な評価～治療計画が立てられるかを評価する。				【4～6 回目】 発表後にグループごとにフィードバックを行う 【9、10 回目】 研究室 (C313) 又は Teams を使用し評価点を個別に開示し、解説を行う。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験	担当教員は作業療法士として 10 年以上の臨床業務経験を有する							
実践的授業の内容	地域作業療法の実務経験のある教員と急性期病院で勤務している特別講師にて、地域作業療法の評価・治療、多職種連携、地域医療連携について臨床をもとに教授する。							
そ の 他	授業は面接授業で実施する。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 受講態度に問題がある学生は退室をしてもらうので注意すること。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性がある。 課題提出は Teams を使って行う。							